

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	チャイルドウィッシュおろ
------	--------------

公表日 令和7年7月15日

利用児童数 20名

回収数 16名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3	1	1	十分な広さではないが工夫されている。	運動スペース、着座スペース、個別活動スペースに分け、限られた空間の中でお子様が集中することができるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2		3	見えないのでわからないが、適切と信じている。	職員の配置数については、法令を遵守し適切な人数を配置しています。研修等で専門性の向上に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	5	1	2	分かりやすさはあると感じる。バリアフリー化は分からないが、ある程度しているといえるかと思う。 見えないのでわからないが、適切と信じている。	階段には手すりをつけ、現状は問題なくご利用いただけています。今後必要に応じて設備の改善や配慮をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	1	1	可能であれば、トイレは男女別々が良いと思います。	お子様が安心して通所できるよう、環境等で不安な場合はお子様と一緒に対処方法を考え、可能な限り対応していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15		1		いつも気持ちに寄り添っていただき感謝している。	今後もお子様一人ひとりに合った支援を実施していくよう職員一同努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15		1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15		1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14		1	1		個別支援計画書の項目は必ず『本人支援』『家族支援』『移行支援』『地域支援・地域連携』で構成されるように作成されています。普段の様子や懇談会、担当者会議等の内容を踏まえた具体的な目標となるように工夫しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1			本人の様子に合わせてその都度考えていただいていると感じる。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2			家ではできないことに色々チャレンジ出来ていていいと感じる。	個々の発達段階を見極め、お子様が楽しく療育活動に参加をし発達・成長できるよう活動内容を工夫しています。今後も固定化しないよう工夫をしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		7	1	8	児童館の利用はしていないと思う。 分からないが、必要性を感じない。	職員の子どもとの関わりの機会はありますが、その他にも機会を設けられるよう努めています。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3		4	以前は進路についての勉強会があってよかったです。またやってほしい。 案内はしてくれているものの、参加は出来ていない。	家族の会やパパママ会を不定期に実施しています。今後は頻度を増やしていけるよう努めています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	15		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		1		助言、相談に乗っていただきありがとうございます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15		1			

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	8	3	1	きょうだい同士の交流やイベントがあると良い。 父母会・保護者会という名前では交流機会はないかも知れないが、困ってはいない。 特に必要性を感じていない。	家族の会を開催し、父母だけでなく祖父母やきょうだいも参加できるイベントを開催しています。今後も交流の場を提供できるよう努めています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14		1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		1	あまり頻繁にHPを確認しに行ってないため不明。	HUGシステム内の活動記録を活用し行事予定やイベントのご案内をさせていただいている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		3	※無回答1	各種マニュアル策定済みです。マニュアルの内容をまとめたものを共有していますが、情報が古くなっている部分がある為更新版を作成し共有するようになります。訓練は計画を立て定期実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3		1		年間計画を立て、消防訓練・地震訓練とともに年2回以上行っています。防災学習センターや消防署へ行き、体験を通して理解を深められるよう工夫しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1			※無回答1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	3			頼りにしている職員さんがおり、相談や困りごとを聞いてもらっていると聞いています。	お子様の表情や言動を観察し些細な変化に気付けるよう留意しています。今後も安心して通所していただけるよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	4			お友達や職員がとても親切に関わってくれてくださっているので、本人はいつも楽しみにしている。 楽しみと、そうでないときがある。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			個別に苦手なことも伸ばせるように療育してくださるのでとてもありがたい。いろいろな経験を提供して下さりとても満足している。	

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュおろ	公表日	令和7年 7月 15日	
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	動スペース、着座スペース、個別活動スペースに分け、限られた空間の中でお子様が集中することができるよう工夫しています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	法令で必要とされている職員配置に加え、児童指導員等を1名以上配置（常勤換算算定にて）しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	階段があるため、手すりをつけています。視覚支援をし分かりやすい生活空間になるよう工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	支援前と支援後に清掃をしています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	仕切りを使い空間を分けています。
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎月の職員会議、毎日の朝礼・終礼で情報共有をしています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	懇談会や送迎時などで話す機会を設けています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意見箱の設置、職員会議、朝礼、終礼などで意見交換の場を設けています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	法人内の本部職員や他事業所職員と確認しあい、業務改善に努めています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人研修やzoom研修などを毎月実施しています。
適 切 な 方	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員会議・朝礼・終礼などで検討しています。また、懇談会やサービス担当者会議に児発管以外の職員が入ることもあります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	会議などで計画的な支援が行われるよう情報共有をしています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎月の職員会議、毎日の朝礼・終礼で情報共有をし、必要に応じて活動内容の見直しを行っています。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	同じ活動の中でもお子様の様子を見てレベルアップを行い、固定化しないよう工夫しています。また、朝礼などで活動内容を共有し方向性の検討もしています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼・会議などで支援前にその日の支援内容や方向性について確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	常勤職員の中でも退勤時間が異なるため、翌日の支援前に共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて学校懇談会や通院に同席しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎トラブルがないよう毎週末下校時間の確認をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	保護者を通じて情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	高校を卒業するまでにチャイルドを卒業する子が多いため前例はありませんが、今後移行する場合は情報提供するよう努めます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	5		以前は児童クラブとの交流をしていたが、コロナで途絶えてしまったため、再開できるよう努めています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	懇談会や送迎の時などに子どもの様子を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や事業所体制が変わった時などに説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	懇談会や家族会の実施をして保護者同士の交流を持つ機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	HUGやインスタグラムにて情報掲載をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを策定し研修を実施し、保護者の方へは書面や画像等により周知しています。年間スケジュールを立てて訓練を実施しています。	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	医師の指示書に基づいて対応した前例があります。すべてのお子様へアレルギーの有無の確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	マニュアルを元に研修を行っています。年間スケジュールを立てて訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット事例が起った際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し職員間で状況共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を実施し、保護者には契約時に丁寧に説明をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		